

## 資料6

### 【資料1の質問・意見に関する回答】

質問No.	資料No.	ページ	事業番号	担当課	質問内容	市の考え方
1	資料1	7	16	青少年センター	参加者が減少していますが、「具体的な取組」でも見直し箇所は見当たりません。30年度予定では、今年度の方向性が「3見直し」の方向にあるようです。具体策をご提示ください。	例年、三季休（春・夏・冬休み）のユースゼネレーションの男女共同参画事業として「スポーツ遊び（ピロポロ・キンボール）」を単発の講座（午前・午後）で実施していましたが、平成30年度では、このスポーツ遊びに「クッキング・おやつ作り」、「工作」といった講座を加え、1日講座とすることによって、参加者の増加を図るものです。
2	資料1	7	22 23	人権・男女参画室	参加者が減少しています。「具体的な取組」では今後について改善策が記されていますが、「パパの子育ての活動をされているNPO」などありますので、活用も視野にいれられてはいかがでしょうか。	29年度は若い世代をターゲットに企画し、開催日も日曜日の午前10時～正午に設定しました。 その結果、28年度の参加者は60代、70代であった参加者が30代、40代の参加がありました。参加人数は伸びませんでした。 アンケート結果からは、①自宅でできる♪初めてのボクササイズ ②家庭・地域・職場でも役立つコミュニケーション講座ともに、「とても良かった」、「今後もこういったテーマの講座をしてほしい」との意見が多数ありました。 委員ご意見を踏まえ、他市の事例等を参考にしながら他機関等との連携も視野に入れ、男性が家庭や地域に参画するきっかけづくりとなるような講座の企画に努めます。

質問No.	資料No.	ページ	事業番号	担当課	質問内容	市の考え方
3	資料1	8	39 40 41	人権・男女参画室	<p>審議会等への女性の参画は、男女の意見が平等に反映される点で有効です。</p> <p>平成29年度新規に設置された審議会・委員会でも女性委員の数が少ないようですので、今後定数の半数もしくは3分の1を女性委員とするなど、定数内容をさだめるような手立ても必要な時期にきているのではないのでしょうか。</p>	<p>審議会等への女性の参画については、担当課と事前協議や事前の相談時に、計画の目的達成に向けまして協力依頼をさせていただいております。</p> <p>しかしながら、構成団体や学識経験者の選出に当たって、女性が少ない団体や研究分野も存在することもありますことから、今後とも、包括協定関係大学や各種団体に対して、女性研究者の紹介や情報提供ご依頼し、団体代表選出に当たっては、女性委員の数が向上するよう働きかけてまいります。</p> <p>また、審議会等の女性委員の定数についての委員ご意見につきましては、今後も引き続き、調査・研究に努めてまいります。</p>
5	資料1	42 43	34	人権・男女参画室 他	<p>市の刊行物・掲示物等に関して男女共同参画の視点を配慮する部署が増えてきたことが伺えます。日頃のフットワークの成果と思われるます。</p>	<p>今後も引き続き、市の刊行物・掲示物等に関して男女共同参画の視点を配慮に努めます。</p>
6	資料1	105	DV防止 基本計画 1	人権・男女参画室	<p>和泉シティプラザでのライトアップや近隣大学との連携事業の展開など工夫がみられ、相当効果が出ています。今後も継続し、更にチャレンジしていただきたいです。</p>	<p>今後も引き続き、DV防止に向け啓発に努めます。</p>

## 資料6

### 【資料2の質問・意見に関する回答】

質問No.	資料No.	ページ	事業番号	担当課	質問内容	市の考え方
1	資料2	43 44	105	公民協働推進室	43ページ下段の「防犯教室」と44ページの1段目の「防犯キャンペーン」の事業内容（詳細）が入れ替わっています。	<p>ご指摘のとおりです。</p> <p>43ページ下段「防犯教室」の事業内容（詳細）については、「<u>性犯罪の被害防止を図るため、女性を対象とした防犯教室を実施する等して、犯罪被害の防止に努める。</u>」</p> <p>44ページ1段目「防犯キャンペーン」の事業内容（詳細）については、「<u>女性・子どもに対する犯罪の被害防止を図るため、防犯ブザー無料配布キャンペーンやひっそり被害防止キャンペーン等を実施する。</u>」と修正いたします。</p>

### 【その他意見等に関する回答】

質問No.	意見等内容	市の考え方
1	平成29年度進捗状況について、昨年度に比べ「進まなかった」の件数が若干減少したことは一定評価できると思います。	「進まなかった」要因を把握し、次年度事業へ繋げることができるよう、進行管理を行います。
2	取組の中身にも随所に工夫やチャレンジが見え、成果をだされていることが伺えます。（育児休業取得・桃山学院大学や商工労働室とのコラボレーション等）	引き続き、事業実施の手法について情報収集に努め実施してまいります。